

# 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震以後に活動が高まった伊豆大島周辺の地震活動(2011年3月)\*

## Seismicity around Izu-Oshima Volcano (March 2011)

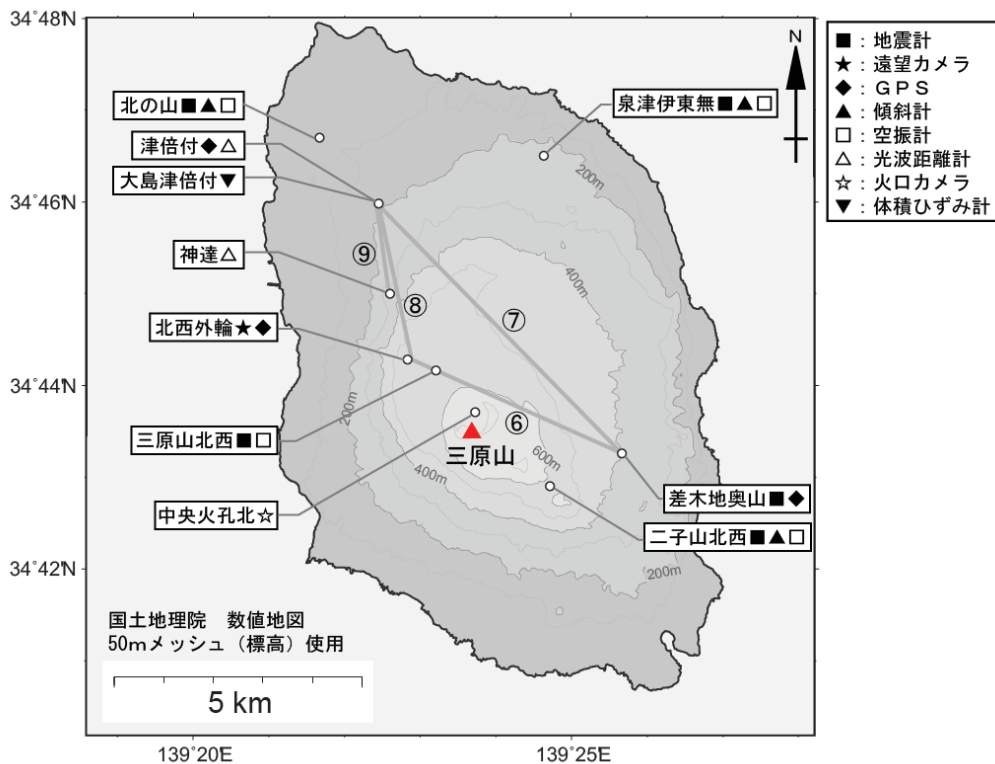
気象庁地震火山部火山課

Volcanological Division, Japan Meteorological Agency

東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、3月11日~13日、15日~16日、及び25日~26日にかけて島北部及び島西部を震源とする火山性地震が一時的に増加した。11日21時47分には島北部を震源とするマグニチュード<sup>1)</sup>3.0の地震が、12日23時37分には島西部を震源とするマグニチュード<sup>1)</sup>3.0の地震が発生した。それ以外の今期間は火山性地震の発生回数は少なく、震源は、主に島西部、北部と三原山周辺の浅いところに分布した。

カルデラ直下浅部が震源と推定される小規模な低周波地震は観測されなかった。火山性微動は観測されなかった。

<sup>1)</sup> 資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。



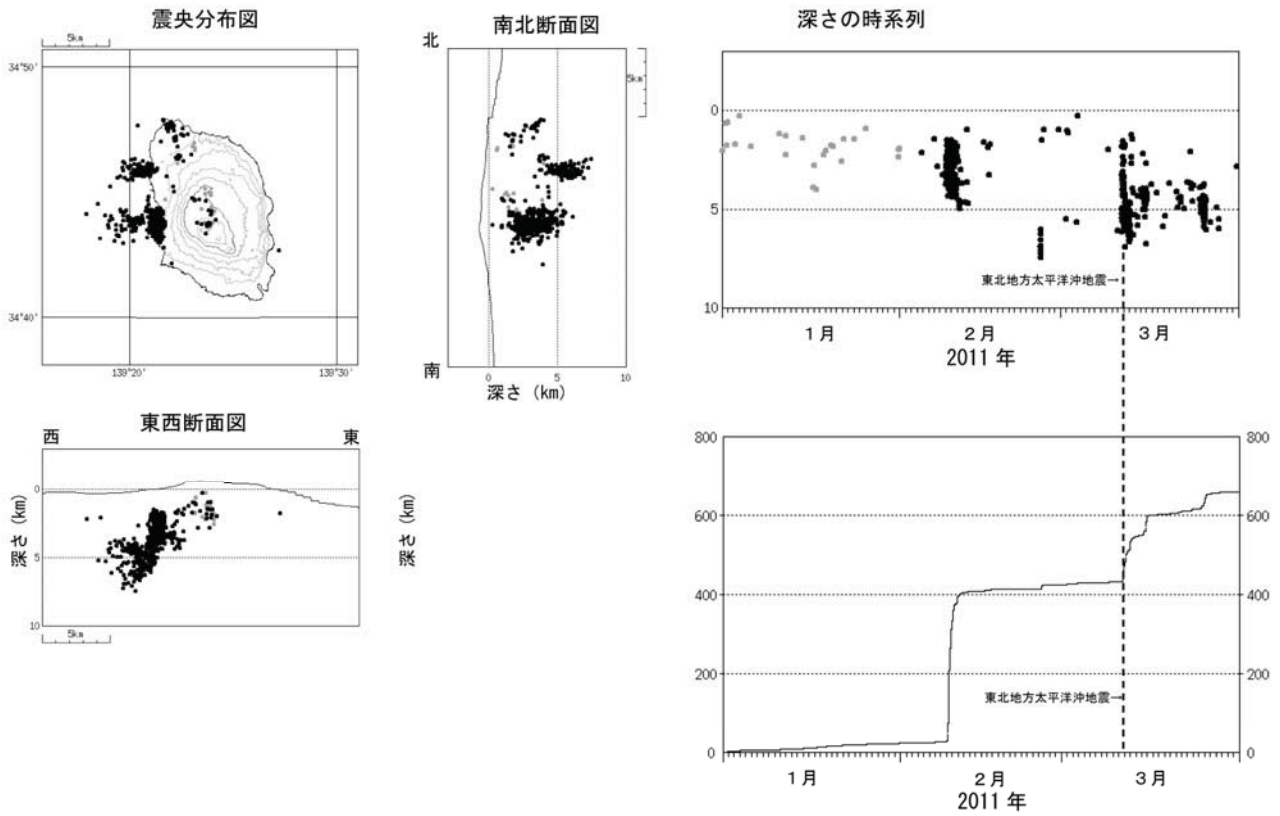
第1図 伊豆大島 気象庁の観測点配置図

Fig.1 Location map of JMA permanent observation sites around Izu-Oshima volcano.

この図の作成には、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」を使用した。

※伊東無、大清水、千波、志久保観測点は3月31日に廃止した。

\*2011年5月2日受付



第2図 伊豆大島 広域ネットによる山体・周辺の地震活動 (2011年1月1日～2011年3月31日)  
 Fig.2 Hypocenter distribution of earthquakes around Izu-Oshima volcano (January 1, 2011 - March 31, 2011).

- : 2011年1月1日～2011年3月10日
- : 2011年3月11日～3月31日

この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成した。この地図の作成には、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」を使用した。